

# たまちゃん通信

平成 31 年 3 月発行 109-3

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号  
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311  
e-mail：honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

## お手玉の魅力を新聞に連載

お手玉会(山口市)の中村山信子さん

山口市の「むかしなつかしお手玉会」の中村信子代表から、このほど、同会の月刊の会報(写真右)と中村代表が山口新聞のコラム「東流西流」に連載したエッセーの切り抜きが届きました。

会報(B4版)は手作りで、平成15年から毎月発行し、この1月で170号となりました。エッセーは、昨年9月から10月の日曜日に9回連載。すべてが、お手玉とのかかわりが述べたものです。その第1回分をご紹介します。タイトルは「お手玉の魔法」です。(写真左)



**東流西流**

日本の伝統文化「お手玉」を伝えて14年になります。お手玉の魅力と魔法に私は、はまりっぱなしです。なぜお手玉？人生は出会いがとても大事です。たくさんの出会いが繋がって今があります。出会いには人だけでなく、新聞だったり絵本だったりさまざまです。六十数年前小学3年生の頃、戦後間もない時代、学校での遊びがお手玉だったのです。おばあちゃんが作ってくれたお手玉を持って行き、友達と2個が何回できるか、片手何回できるか競い合うほど夢中でした。でも3個は誰もできませんでした。ある日熱で学校を休んでいた日、寝ていられなくて3個のお手玉にチャレンジしました。夢中でやっているうちにできたんです。うれしくて心がドキドキしました。「信子は何ばしよっと」母がやってきました。「見てよ3個できたばい」喜んでる私に「鼻血ば出してから」とあきれられる母の言葉でした。そのときの喜びが心に残って今も続いています。お手玉で脳が喜び心がほころび笑顔にしてくれます。魔法です。たくさんの出会いのつながりで14年、遠いところは東日本の岩手県大槌町、大阪、高知、熊本、いろんな所で楽しく遊びを伝えています。1212回のお手玉会で5万5335人との出会いがあり感謝です

これから、中村代表の「東流西流」のエッセーを随時持紹介します。

中村 信子

**お手玉の魔法**

ひがお手玉だったのでもう1つ「見てよ3個できたばい」喜んでるてくれたお手玉を持って私に鼻血ば出してか行きて、友達と2個が何回とあきれられる言葉でできるか、片手何回できるか競い合うほど夢中でした。でも3個は誰もできませんでした。ある日熱で学校を休んでいた日、寝ていられなくて3個のお手玉にチャレンジしました。夢中でやっているうちにできたんです。うれしくて心がドキドキしました。「信子は何ばしよっと」母がやってきました。「見てよ3個できたばい」喜んでる私に「鼻血ば出してから」とあきれられる母の言葉でした。そのときの喜びが心に残って今も続いています。お手玉で脳が喜び心がほころび笑顔にしてくれます。魔法です。たくさんの出会いのつながりで14年、遠いところは東日本の岩手県大槌町、大阪、高知、熊本、いろんな所で楽しく遊びを伝えています。1212回のお手玉会で5万5335人との出会いがあり感謝です

はしよっと母がやってかお手玉会代表

(山口市、むかしなつかしお手玉会代表)

### 山口新聞に掲載の『お手玉の魔法』

「日本の伝統文化『お手玉』を伝え続けて14年になります。お手玉の魅力と魔法に私は、はまりっぱなしです。なぜお手玉？人生は出会いがとても大事です。たくさんの出会いが繋がって今があります。出会いには人だけでなく、新聞だったり絵本だったりさまざまです。六十数年前小学3年生の頃、戦後間もない時代、学校での遊びがお手玉だったのです。おばあちゃんが作ってくれたお手玉を持って行き、友達と2個が何回できるか、片手何回できるか競い

合うほど夢中でした。でも3個は誰もできませんでした。

ある日熱で学校を休んでいた日、寝ていられなくて3個のお手玉にチャレンジしました。夢中でやっているうちにできたんです。うれしくて心がドキドキしました。「信子は何ばしよっと」母がやってきました。「見てよ3個できたばい」喜んでる私に「鼻血ば出してから」とあきれられる母の言葉でした。

そのときの喜びが心に残って今も続いています。お手玉で脳が喜び心がほころび笑顔にしてくれます。魔法です。たくさんの出会いのつながりで14年、遠いところは東日本の岩手県大槌町、大阪、高知、熊本、いろんな所で楽しく遊びを伝えています。1212回のお手玉会で5万5335人との出会いがあり感謝です

これから、中村代表の「東流西流」のエッセーを随時持紹介します。